

——110mH種目の魅力はどんなところですか？

田口：10台終わるまで何が起るかわからない所。ハードル一台一台で大きく結果が左右するし、ストーリー性があるところが魅力だと思います。

一台一台にストーリーがあるんですね…確かに一つで結果が大きく変わる競技だと思います…！

——チーム代表として日本インカレの心持ちはどうですか？

田口：どれだけ沢山大会を経験しても、本当に緊張してしまいます。笑

けれどこうして学大代表として出させていただく以上、最後まで気持ちを高く持ち続けて自信と誇りを持ってスタートラインに立ちたいと思います。

普段のイメージからは緊張しななそんな感じなのに、意外でした！一年生で日本インカレに出れるなんてすごいです…頑張ってください！

——チーム学大のいいところはどんなところだと思いますか？

田口：あたたかくて皆さん優しい所です。みんながみんなを心から応援できるところが本当に素敵だなと思います。

陸上は個人競技な面が多いけれど、学芸大は一人一人が選手を応援できるチームとしての力が魅力的だよね…！

——どうして陸上競技を始めたんですか？

田口：元々アクロバットを習っていて、高跳びやったら活かせようだなと思ったからです！

ええ！そうだったんだね！真悠は体操をやったりたくさん種目を経験したりしてるよね…！今の種目はどうして選んだの？

田口：元々は、四種競技の強化のためにハードルも始めたという形です。

混成は最後まで順位の変動が起るところがすごくワクワクします。一方ハードルは、その場で順位がパッと分かるので、一種目に絞って日本一を目指したいと思ったのが、ハードルに絞ったきっかけです。

また混成に挑戦したいなとも思っています…！